

子宮頸がん啓発企画「LOVE49 プロジェクトキャンペーン」

長崎スタジアムシティにて開催予定!!



日時：令和8年4月11日(土)12時~15時

場所：長崎スタジアムシティ スタジアム2階サウス側フードホール入り口

内容：子宮頸がん予防マガジン・風船等の配布
パネル展示、医師・細胞検査士による解説
ゆるキャラによる啓発活動

主催：長崎県臨床細胞学会・細胞検査士会



子宮頸がん予防マガジン



LOVE49 プロジェクトキャンペーンってなに？

LOVE49 プロジェクトキャンペーンとは、4月9日(子宮の日)にちなみ、全国47都道府県で展開している子宮頸がん検診の啓発キャンペーンです。定期的な子宮頸がん検診の必要性を伝えること、そして速やかな医療機関への受診を後押しすることを目的として活動しています。



長崎県においても医師、細胞検査士が中心となり、毎年、商店街やショッピングセンターなどでパンフレットの配布やパネル展示を行っています。今年は4月11日(土)長崎スタジアムシティにて開催します。多くの方に子宮頸がん検診の大切さを知っていただけるよう、精一杯取り組んでまいります。

ゆるキャラも会場でお待ちしています!お気軽にお越しください(^^♪

日本マスキリーニング学会技術部会第8回九州・沖縄地区研修会 in 長崎

令和7年11月29日(土)、にっしょうかん新館梅松鶴において「日本マスキリーニング学会技術部会第8回九州・沖縄地区研修会」が開催されました。



長崎大学病院小児科の伊達木先生より「長崎県における新生児マスキリーニングの現状と新知見」についてご講演いただきました。特別企画や座談会などでは活発な意見交換が行われ、参加者にとって多くの学びを得ることができ、有意義な研修会となりました。

新生児マスキリーニングとは？

生後間もない赤ちゃんの血液を調べ、先天性代謝異常や内分泌疾患等を早期に見つけて、治療につなげるための検査です。これらの疾患は早期に治療を開始することで発症や重症化を防ぐことができるため、赤ちゃんの健やかな成長を守る目的で実施されます。



第54回日本消化器がん検診学会九州地方会へ行ってきました

診療放射線技師が発表した演題が**優秀演題**に選出されました！

今回発表した演題

胃X線検診の精度向上に向けた当施設の取り組み



近年、胃X線検診は内視鏡検診と比較して減少傾向であるが様々な理由から今後も一定の需要があると考えられる。

当施設では撮影手技の見直しや読影技術の全体周知など近年改善を試みていることについて報告した。

さらに定期的な症例検討やフィードバックを行い、技術の標準化を図り受診者サービスに繋がりたいと考える。

大分県で開催されました🍷
今年は長崎県で開催されます



胃がん検診に従事する診療放射線技師は毎年学会発表を行い、認定の取得など日々努力を続けています。また受診者数が年間約20,000人と県内で実績があり、経験豊富で認定を所有したスタッフが精度の高いプロフェッショナルながん検診を実施しています。

ぜひ早期発見のためにも受診してください。

日本消化器がん検診学会とは？

消化器がん検診に関する学術研究活動の充実と、正しい検診方法の普及を図り広く国民の健康増進と福祉向上に貢献することを目的とする学会のこと。



社団法人
日本消化器がん検診学会
<九州支部>

＼ CT検診もご検討ください ／



公益財団法人 長崎県健康事業団

〒859-0401 諫早市多良見町化屋 986-3

TEL 0957-43-7131 (代表) FAX 0957-43-7139

<https://www.npmhc.jp>

接遇研修会が開催されました！ 感じのよい対応をして、 選ばれる健診機関となるために

Pickup! ～普段の会話から気づきを～

研修会は、来客対応などの場面を例題に、「伝わりやすい、わかりやすい言葉」を模索していくグループ討論方式により行われました。普段何気なく使っている言葉でも、立場や視点が違えば、言い方や受け取り方が変わることによって気づくことがあります。その「気づき」を得る良い機会になればという主旨のもとに企画されました。



接遇って実は奥が深い

日常の会話をあらためて文字にしてみると、たくさんの気づきがありました。同じ場面の会話でも、「シンプルな言葉がわかりやすい」「詳しく説明した方が親切では？」と意見はさまざま。

研修会後は、日頃から相手を思いやった丁寧な接遇をしていきたいという気持ちが強くなったという声が多くありました。日常の何気ない対応こそ、実は一番の学びどころかもしれません。自分自身の当たり前を見直す良いきっかけとなりました。



グループで意見を出し合い発表！

Challenge! 来客対応編



来館の約束をしている人への対応よりわかりやすいと思う言葉を【 】に入れてみましょう。

『病理検査課の森さんとお会いする約束をしておりました、中野と申します。』

Q【 】
担当者から聞いている。指示を仰ぐので、ロビーの椅子に座って待ってもらおう。

Q【 】
4階病理検査課を訪ねてもらおう。

グループトーク！



病理検査課まで案内した方が丁寧かな？

うんうん、それかエレベーター前で森さんに待っというてもらおう！



参加者の声

普段何気なく使っている言葉でも文字に起こすことでおかしい部分に気づけた。



同じ言い回しでも様々な表現があった。

正解がないからこそ接遇は難しいと感じた。



昨日の反省を
今日に活かそう

3月の
接遇目標